

大分に作りたいものだよ「青少年科学館」その 19

by 富成

「大分に青少年科学館を作る会」の活動についての 2010 年度のレポートの続きです。前回は 2010 年 8 月に集中的に行われた「O-LABO」への参加の様子を報告しましたが、今回はサイエンス・カフェの開催及び委員会・総会のレポートです。

2010,06,05 「おおいたサイエンスカフェ 2010」開催



今回のサイエンスカフェは「おおいたサイエンスカフェ 2010」と題し、話題提供者にサイエンスライターとして有名な渡辺政隆さんをお迎えして「ダーウィンの夢 - 進化論の楽しみ方」という内容で開催されました。

大分合同新聞社に面した八ニカムプラザ 1F の「八ニカムカフェ」で行われました。

渡辺政隆さんよりダーウィンの進化論などについて大変興味深い話が紹介された後、各テーブル毎にセッションが行われました。

渡辺さんもテーブルをまわってさらに話の輪を広げていった後、テーブル毎にまとめの発表が行われました。

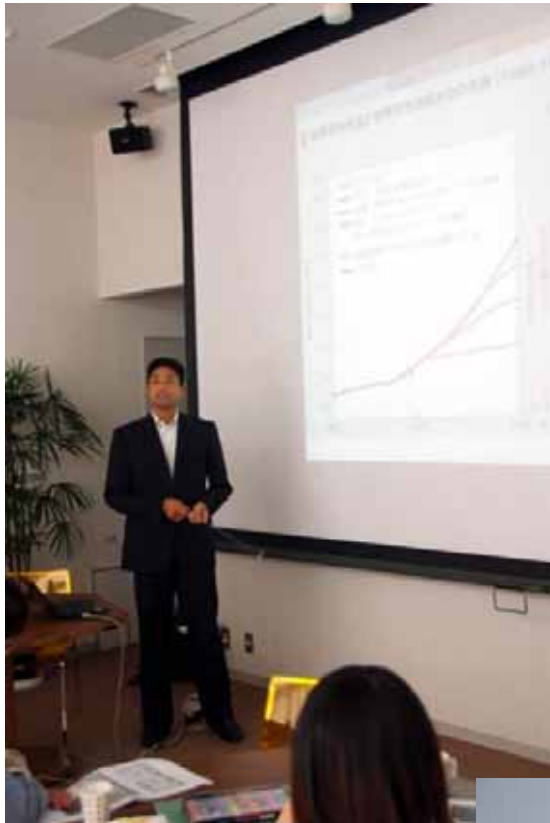
最後にまとめて渡辺さんが質問に答えてカフェは終了しました。

かく言う私富成も、これまでダーウィンの進化論については、あまり真面目に読みかつ考えた事がなかったので、今回この機会を捉えて少しだけきちんと勉強してみたところです。



2010,09,25 「おおいたサイエンスカフェ 2010 part2」開催

2010 年度第 2 回目のサイエンスカフェが 9/25 に前回と同じ八ニカムプラザ 1F の「八ニカムカフェ」で開催されました。



今回の話題提供者は大分県教育センター指導主事の船津勇一さんです。今回提供していただいた話題は「きのこ地球温暖化」。

まずは、温暖化の状況（温度変化や氷河の縮小）を紹介して頂き、これまでの研究から将来における気温の上昇モデルの紹介、それに伴う海水面の上昇予測モデルの紹介など大変興味深い話をして頂きました。

「未来の、人類を含めた生物の生態系にどのような影響が起こるのか？ そのことに対して、現代に生きる我々は何を考え、何をしなければならないのか？」と、問題定義をして頂きました。

また、菌類と植物の共生・海から陸上への植物の進出などの話題も盛りだくさん紹介して頂きました。

その後、サイエンスカフェ本番のテーブル談義に入りました。今回のカフェには中学 1 年生・高校 1 年生の学生さんから 70 歳を越える方まで大変幅広く参加頂き、多彩な意見・感想が飛び出しとても楽しいカフェでした。



2011.2.13 『大分に青少年科学館を作る会』の 2010 年度 委員会と総会開催

委員会

11:00～12:00（大分大学教育福祉科学部 203 号教室）

旧監事の退任により、新監事を選任。

（新監事）川田 政昭：(特)大分宇宙科学協会

2009 年度事業報告及び決算の承認。2010 年度事業計画及び予算の決定と 2010 年度事業の中間報告。

総会

13:30～15:20（大分大学教育福祉科学部 200号教室）



午前中に開催された委員会の報告とこれまでの全体的な説明があった後、特別ゲストとして 大分県商工労働部工業振興課長（当時）の岩本正士氏を迎えて、2010年度の県の目玉事業である「0-LABO 実証実験」の中間とりまとめ等の紹介をいただきました。

また、その後の意見交換では

会員から様々な質問・意見が出ましたが、それに対しても大変丁寧にお答えいただきま



した。予定時間を大幅に超過したにもかかわらず、我々にお付き合いいただいたことを、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

【訂正】

前回（2011年7月号）p28 一番下の

『大分に青少年科学館を作る会』の構成団体がこの0-LABO実験に参加・協力しました。詳細は以下のとおり。（2011年8月の日曜日3日間）

は （2010年8月の日曜日3日間）

の間違いでした。訂正してお詫び致します。